



県連情報



第 51 号

2001 年 12 月 28 日
発行：日本ボーイスカウト富山県連盟 組織情報委員会

Lineup

上市第 1 団 B V S 発隊報告	上市第 1 団ビーバー隊 隊長 堀田 充
ローバーとは?	富山県連盟 ローバース会議 (T R C)
平成 1 3 年度スカウティング研修会開催報告	富山県連盟 アダルトリソース委員会
第 4 5 回富山県大会メッセージ	魚津第 2 団 団委員長 平内 幸典
コラム	新川地区コミッショナー 平井 孝明
I N F O R M A T I O N	富山県連盟 事務局

上市第 1 団ビーバー隊発隊報告

上市第 1 団ビーバー隊
隊長 堀田 充

10月28日(日)13年ぶりに上市第1団として復団そしてBVS隊を発隊しました。

新聞にも大きく取り上げられ関係各位からもたくさん激励されあまりの期待の大きさにただ驚いております。

昨年秋に伊東上市町長(元カブ隊指導者)の命令によりボーイスカウトを復活させることとなり、教育委員会生涯学習課が中心になり復活に向けて動き始めました。

役場職員、元連合青年団メンバーを中心に13名の有志が集まり指導者研修、ウッドバッジ研修所への参加、近隣の他団の隊集会の見学、何回もの打ち合わせを行い順調に進んだかに見えましたが、指導者同士意見が合わず対立する事もかなりありました、そんなときに県連や他団の指導者の的確なアドバイスにより今年夏には組織体型もめどが付きビーバー募集にこぎつけました、その結果2校下から11名の元気な子供達が集まり無事発隊にこぎつけました。

発隊に向けて何回か隊集会を行いましたがあまりにも元気のよい子供達に指導者はふりまわされっぱなし、この先どうなるやらと心配しましたが回を重ねるごとに子供達もなれてきておとなしくなってくれました。

自分たち指導者もまだまだわからないことばかり1回1回が勉強だと思い活動しております、この元気のカタマリのような子供達を立派なカブ、ボーイに成長させようと指導者全員張り切っています。

最後に復団、発隊に向けて協力くださった県連、他

団指導者の皆さんありがとうございました、これからもよろしくお願いします。

ローバーとは?

富山県連盟ローバース会議「T R C」

11月18日、ローバー3名、アドバイザー1名のT R Cメンバーで、上高地へ行ってきました。アクセス道路のバス運行休止後なので、R158沿いの坂巻温泉より片道徒歩約3時間の日帰りトレッキングとなりました。気温は-2と少し寒かったですが、観光客のいない静かな上高地を満喫しました。また、当日は雲一つない快晴で、穂高連峰や焼岳の雄大な眺めは素晴らしく大変感動しました。今回のトレッキングは、あるプロジェクトの事前準備の一環、現地下見として実施しました。今T R Cでは、来年末の厳冬期に上高地で雪中野営(小梨平)と散策(明神池)を行うプロジェクトの準備を進めています。ただ、厳しい自然を体験するためではなく、野営装備や冬期活動の知識やスキルの習得すること、そしてそれらを参加メンバーが所属する原隊の活動に応用し、隊活動を活性化させることを目的としています。来年3月までに、計画書をまとめて、参加メンバーを決定し、安全面などの具体的な準備、訓練に取り掛かります。

11月3-4日に開催されたスカウティング研修会では、愛知ローバース会議の活動をはじめ、様々なローバー活動についてご紹介させていただきました。ま

た、各団のローバー活動の現状や低迷している原因について議論することができ、今後のTRC活動のあり方について考える良い機会となりました。そのディスカッションで発言された、あるTRCメンバーの提案を紹介します。“他のローバーは何で活動できないのでしょうか？指導者として忙しいことが原因なのかもしれません。各団の隊活動の動力源として、ローバー年代が期待されていることはよくわかります。しかし、TRCも活動を展開して行くにはその動力源が必要なのです。そこで、各団はあえて、そのローバースをTRCに送り出すべきだと思います。TRCに対する信用はまだ不足しているかもしれませんが、試験的に送り出して頂きたい。そして、そのローバーがTRCでの活動を通して、どのくらい成長するかを見て頂きたい。団の中だけで人材を（指導者として）教育することは良くないと思います。団や地区の垣根を越えて人材を育成すべきです。”

このディスカッションについては、研修会後の午後開催したTRC定例会で評価・反省を行い、11月17日の定期集会でPR活動を中心とした、TRC発展のための具体的な対応策について検討しました。

1. TRCメンバーの少ない地区へ出向いて、集会を

開催する。

2. ベンチャースカウトにローバー活動を理解してもらうために、県内のベンチャースカウトを対象とした行事を主催する。

3. 各地区のベンチャー隊長ラウンドテーブルに参席する。

4. 来年度のスカウティング研修会には企画の段階から参加する。

5. 指導者講習会の運営に奉仕する。（ソング・ゲーム担当やRS部門の説明担当として）

6. 県連運営委員会にオブザーバーとしてTRCメンバーを推薦する。

7. メーリングリストやチャット、WEBサイトを利用して、積極的に情報交換を図る。

以上。

以上の活動案については、関係者の皆さんと調整した後に、企画・実施します。今後ご理解とご協力をお願い致します。

以上の内容に関するご意見・ご質問は、trc@ml.dosule.com までご連絡下さい。

B - Pの言葉

【両親】

カブ隊をうまく運営していくのに、大きな助けになるのは、カブ達の両親と接触することである。アイデアを彼らと相談し、これまでとは違ったことをする理由を説明するなどして、彼らに心から興味を持ってもらう。少なくとも、年に1回は両親達を訪問し、カブ隊の諸行事やキャンプに招待する。そして、家庭におけるカブ達の作業を援助してもらうべきである。

【不屈の精神】

「オークの木もかつては、1個のどんぐりにすぎなかった。」

人生はまだ始まったばかりなのに、人生に成功することの希望を失ったら、大きくて強いあのオークの木も最初は、地面の上に転がっていた小さなどんぐりにすぎなかったことを思い出さない。

【責任】

少年達に多くを期待しなさい。そうすれば、大抵は成果が得られるものだ。

BadenPowell y Gilwell



ボーイスカウト富山県連盟ホームページ

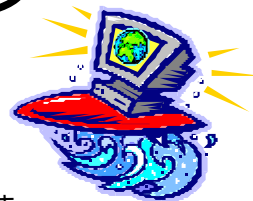


あなたはもうアクセスしましたか？

おかげさまで、もうすぐ15,000ヒット！！

<http://www.vl.takaoka-nc.ac.jp/~bstoyama/>

富山県から全国 全世界へ向けて 県連の様子 各団の様子・スカウト募集情報を発信しています。



平成13年度スカウティング研修会報告

県連盟アダルトリソース委員会

平成10年度に第1回県連盟指導者研修会として産声をあげた本事業は、4回目の今年度、「スカウティング研修会」と名称を替え、11月3日～4日にかけて富山県二上青少年の家を会場に県内外指導者・スカウト保護者及び運営スタッフ総勢55名の参加を得て開催いたしました。

今年は、富山ローバース会議のメンバーの呼びかけで、遠く愛知ローバース会議のメンバー4名の参加もあり、ローバース達が抱える悩みや実際の活動状況を聞くことが出来るなど、従来にも増して活発な研修を進めることができました。

さて、スカウティング研修会は、定型外訓練の一環として本委員会が主管しトレーニングチーム及びコミッショングループの協力を得ながら県内指導者のスキルアップや運動の目的の再確認、さらに時宜に応じた話題提供、そしてもっとも重要な指導者の情報交換・交流に眼目を置いて実施しています。

今年度の内容は、

スキルマーケット（チェンソー、ソング、燃料の取り扱い、どんぐり工作、ファイアの新組み）

キャンプファイア（模擬営火）

安全会審査事故の分析（野営管理委員長報告）

昔の遊びをやってみよう

富山ローバース会議活動報告（バングラデシュ派遣報告、RSの活動報告、参加者とのディスカッション）

と大まかに6項目に区切り、参加者全員が参加・体験し進めました。

最後に、終了後の実施したアンケートからいくつかをご紹介します、次年度以降の実施方向を探る糧としたいと思います。

（自由意見）

・愛知のローバースが参加してくれたことで県内指導者の意識向上につながったと思う。

・参加者が以前より減っているのが残念、スキルなどをもっと充実してほしい。

・参加メンバー、参加団に偏りがあると思う、県下全団に案内が出ているはず、少なくとも各団から最低2名程度の参加を...

・「昔の遊び」は、あまり経験したことがなかったので、これからプログラムに取り入れてみたい。

・スキルマーケット面白かったです。チェンソー、燃料などマニアックで参考になりました。今後、分野を絞ってより高度なものや、レベルに合わせて選択できるものを。

・部門別会議が予定されていたのに、無かったのは残念。

・幅広い情報交換の場として大変参考になった。次回に向け隊から多くの指導者を参加させたい。

・研修会の参加を募集するとき、スキルマーケットの内容がわかっていると、期待や自己準備ができてよいのですが。

等々、いろいろなご意見をいただきました。貴重なご意見を是非、次回以降の企画の検討材料とさせていただきますと思います。

各地区においても、ラウンドテーブル等の場を通じて同様の訓練・研修の機会を設けられていますが、県下の指導者が一同に集まる機会は、そうめったにありません。一人でも多くの方々の参加を望みます。平成14年度は11月に青少年施設にて開催する予定になっています。

なお、定型訓練は、今年度最後の指導者講習会として、14年3月24日（日）に高岡市社会福祉協議会館で開催いたします。貴団内の指導者で未受講の方がいましたら、ぜひ参加をお勧め下さい。スカウトの保護者の方でも大歓迎です。良きBS運動の理解者が増えることにより、団内に活力がついてきます。

みんなで、楽しいスカウティングを進めようではありませんか。

第45回県大会メッセージ

魚津第2団 団委員長 平内幸典

私達魚津第2団ビーバ隊は、復団してはや1年が過ぎました。

その間、色々な活動をし、スカウト・保護者・リーダー共、充実した日々をおくれた事を心からうれしく思っています。

また、今年に入りましてからは、スカウトの数も倍近くになり、活動が活発になってきました。来年の四月には、待望のカブスカウト隊も復隊することになります。

さて、来年度の第45回ボーイスカウト富山県大会は魚津市で開催される運びとなりました。テーマは海の街「魚津」をイメージし「スカウティング大航海」と設定いたしました。魚津の良い所をご覧いただき、富山県大会が中味の濃い内容になるよう運営部・行事部の両部会にて準備を進めております。

ぜひ、「しんきろうの見える街、魚津」へ県内のスカウト全員が集まって下さるよう、心からお待ちいたしております。

パソコン講習会開催決定！！

平成14年2月3日（日）

9：00～15：00

高岡短期大学メディアルームにて

定員10名程度

参加費 1,000円（昼食・会場代）

富山県連盟ホームページ作成班ではパソコン初心者の方のためのパソコン講習会を開催いたします。パソコン操作のイロハ、インターネット使い方を楽しく学びませんか？お申し込みは県連事務局まで。

Column

ちょっと昔の話になるが、就職して間もない頃、私は日本連盟ローバス会議という組織のメンバーに入っていた。当時のローバー活動は東京・愛知・大阪など、ごく一部の地域でしか行われておらず、その理由の大半が「指導者の不足」「近隣に組織がない」「SS(当時)までで満足」といったものであった。年に数回の会議を通してRS活動のPR策を練り、ジャンボリーでパーティを開いたりムートへの参加を呼びかけたりしたが、その反応は期待を遙かに下回るものであった。

折しもSS活動をVS活動へと変革される時期にあたり、RSそのものの存在すら危うく感じていた時期、大きな事件が起こった。そう、阪神淡路大震災である。これに対し1週間単位でのボランティアが募集されたくさんの方々が奉仕されたが、情報が交錯し何が必要で何があるのかすらわからない状態であった。この状況の中、RSは現地避難場所の実働部隊として、そして次期ボランティアの方々への情報の発信源

として奉仕した。その中心となったのが兵庫県のRS達であった。

彼らは、震災以前にはRSとしての活動はほとんどしていなかった。しかしながらこの被災を契機に変貌した。地区・県連としてのローバー組織を発足し、定期的に活動を行うと共に他県で災害が起こったときの支援に関する憲章を採択している。実際、日本海重油流出事故の際には福井県へ奉仕に出向いている。

BVSから積み上げてきた知識・技能が自分に対してどう役立つのか、世の中にどう役立つのか、それを一番感じられるのがRS活動ではないだろうか。それを感じ取った時、スカウト達は大きな自信を手に入れ、さらに活躍する場所を見つけるのではないだろうか。富山県のRS活動はまだ始まったばかりだ。彼らは自分を高めるべく、活躍の場を探しては努力している。安直に「指導者が足りないから・・・」などと言わず、RS又は同年代指導者を機会ある毎にRS活動へと送り出してやるのも我々指導者の責務ではないだろうか。長年見てきた自慢のスカウトが、さらに大きくなって帰ってくることを期待して。

平井孝明(滑川1・SL)

インターネットのすすめ

近年急速に利用者が拡大しているインターネット。皆さんはどのように利用していますか？中にはまだ利用したことがない、「どうもこういうのはニガテ」と二の足を踏んでいる方も多いかと思います。

そこで、県連ホームページ作成班では、パソコンを使ってみたいけどどこから手をつけていいかわからない、パソコンを買ったけど使い方がいまいち、そんなパソコン初心者の方々を対象に「パソコン講習会」を開催いたします。開催日程は以下を予定しております。

平成14年2月3日(日) 9:00~15:00

高岡短期大学メディアルームにて

なお定員は10名程度とさせていただきますのでご希望の方はお早めに県連事務局までお申し込みください。あなたもこの記事をクリックにインターネットの世界の扉を開けてみませんか？

インターネットの代表的なサービスとしては以下のようなものがあります。講習会ではこれらを実際に使用してインターネットの世界を体験していただくことができます。

電子メール(E-Mail ; Electronic Mail)

電話回線、電波などを用いて、パソコン間・携帯電話などでメールの送受信をするシステムのことで、相手のアドレスさえ知っていれば、世界中の人と即座にコミュニケーションが可能です。

WWW(World Wide Web)

Web ページ、または Web サイトと呼ばれる情報発信基地から文字や画像、動画などによって、インターネット上に情報を提供するサービスで、いわゆるホームページのことです。誰もが情報を発信、受信することができます。インターネット上に置かれた膨大な情報の中から自分のほしい情報を探し出すことができるようになれば次々と新しい世界が広がります。

【富山県連盟のインターネットサービスのご紹介】

現在富山県連盟ではインターネットを通じて以下のようなサービスを行っています。

BSTOYAMA <http://www.vl.takaoka-nc.ac.jp/~bstoyama/>

富山県連盟の公式ホームページです。県連の行事などが一目でわかる「県連からのお知らせ」コーナーが最も人気があります。また県内団の活動が写真付で投稿できるコーナーもあります。

BSTOYAMA mobile <http://www.vl.takaoka-nc.ac.jp/~bstoyama/mobile/>

こちらは携帯電話からご利用の方を対象に作成しているページです。いつでもどこでも見たいときにすぐアクセス！もちろん「県連からのお知らせ」コーナーもご覧いただけます。

BS-NEWS

政府発行のメールマガジンはあまりにも有名ですが、こちらは県連発行のメールマガジンです。県連事務局からイキのいい情報を発信しています。県内加盟員で電子メールを受信できる方(パソコン・携帯電話など)ならどなたでも登録できます。(現在270団から65名の登録)詳しくは県連事務局までお問い合わせください。

INFORMATION

13NJ 情報

派遣団構成が以下のとおり、決定いたしました。総派遣員数は308名です。

派遣団長

窪田 菊次郎（理事長・6SC副野営長）

派遣団副団長

川田 啓雄（副理事長・6SC野営長付）

参加隊 6個隊 240名

第1隊	砺波地区	河合 常晴	隊長（城端1SL）
第2隊	高岡地区	野村 秀昭	隊長（新湊3SL）
第3隊	高岡地区	館 照夫	隊長（高岡28SL）
第4隊	新川・高岡地区	松田 昭	隊長（高岡21SL）
第5隊	富山地区	荒木 伸幸	隊長（富山16SL）
第6隊	富山地区	飛弾野 敏一	隊長（富山19VL）

VS奉仕隊 1個隊 20名 隊長は調整中

ドラム隊 1個隊 36名 石村 真一 隊長（福野1ASL）

SHQ 10名（窪田副野営長・川田野営長付含む）

JHQ 2名

今後、派遣団会議を2月頃に開催する予定です。

平成14年度指導者訓練開催計画

指導者講習会（6回）

開設名	開設月	場所（地区）	主任講師	備考
H14-1	4月	富山	高橋 誠LT	
H14-2	6月	砺波	橋本 峰子ALT	
H14-3	6月	新川	森田 喜義LT	
H14-4	10月	高岡	林 慶隆ALT	
H14-5	11月	富山	森里 重明ALT	
H14-6	3月	高岡	串田 幹夫ALT	

WB研修所（1コース）

開設名	開設月日	場所	所長	備考
BS第27期	9/20（金）～23（月）	国立立山少年自然の家	梁瀬 正文ALT	

WB実修所（1コース）

開設名	開設月日	場所	所長	備考
CS第127期	5/1（水）～6（月）	国立立山少年自然の家	調整中	

平成14年度スカウティング研修会

開催日	場所	備考
平成14年11月9日（土）～10日（日）	青少年施設	

【発行元】 日本ボーイスカウト富山県連盟事務局

tel : 076-432-6505 e-mail : bstoyama@p1.coralnet.or.jp

「県連情報」に対するご意見、ご希望、ご感想などがございましたらこちらまでお寄せください。